

アマモ種子選別会と 城ヶ島海の体験教室

2007年7月28日土曜日
午前8時50分受付開始

場所：神奈川県水産技術センター（城ヶ島）

アマモは海草の一種で、海をきれいにしたり、魚などのすみかになったりします。アマモを増やすことで海が豊かになるのです。

6月に皆さんと集めた花枝は現在熟成中です。今回は熟成させたアマモの種を採取します。集めた種は11月にまき、苗まで育て、来年の春に海に移植します。

また、午後には海の観察会を行います。天然のアマモ場でたくさんの生き物たちとふれあうことができます。

みなさんの参加をお待ちしています。

参加費**無料**

みんな来てね♪
申込み方法：裏面参照



お申込・お問い合わせはこちら

金沢八景一東京湾アマモ場再生会議 事務局
〒220-0023 横浜市西区平沼2-4-22、ジュネスササキ22号
NPO法人海つくり研究会 内

FAX:045-317-9072

E-mail:umibeken@nifty.com

ホームページ:http://www.amamo.org/

スケジュール

【午前の部 9:20~12:00】

アマモのミニ勉強会
アマモ種子選別作業

【午後の部 13:00~15:00】

マダイの放流
スノーケリング(*)又は磯遊び(低学年)
まとめ

*スノーケリングは4年生以上(機材をお持ちの場合はご持参ください)



主催：金沢八景一東京湾アマモ場再生会議

共催：神奈川県水産技術センター

特定非営利活動法人 海辺つくり研究会
海をつくる会

後援：横浜市環境創造局南部公園緑地事務所



この催しは「全労済環境活動助成」の補助を受けて実施します。

持ち物

昼食・飲み物(熱中症予防のために必要です。)・帽子

【水に入る場合】

濡れてもよい靴(ビーチサンダルは不可)・水着・バスタオル・軍手・着替え

※会場付近にはレストランが少ないため、昼食は各自で準備して下さい。

※スノーケリングの場合は、使い慣れたマスク・フィン・スノーケルがあれば、持参して下さい。機材の無いお子さんには主催者側で用意します。(先着30人まで)

※ライフジャケットは主催者側が用意します。



アマモ豆知識

アマモ場はカニ類やエビ類などの小さな生物のすみかとなっています。そういった生物を好物とする魚介類がエサを求めてやってくるため、漁場としてもアマモ場は高い価値をもっています。みなさんの食卓に上る魚も、ひょっとしたらアマモ場で育ったのかもしれないね。



詳しくはホームページ

<http://www.amamo.org/>

をごらんください

会場までのアクセス

【会場】

〒238-0237

三浦市三崎町城ヶ島養老子

神奈川県水産技術センター

電話:046-882-2314(担当:工藤孝浩)

【アクセス】

京浜急行三崎口駅 下車

京急バス(城ヶ島行)

↓ 約30分

白秋碑前 下車

↓ 徒歩2分

神奈川県

水産技術センター

(駐車場がありますので、車での参加も可能です。)



【バスの時刻】

(三崎口駅発)

8時20分

8時34分

参加ご希望の方は7月26日(木)までに、下記の内容をFAXまたはE-mailでご連絡下さい
FAX:045-317-9072 E-mail:umibeken@nifty.com

7月28日(土)アマモ種子選別会・城ヶ島海の体験教室参加申込書

①参加を希望する時間区分に○をつけてください。

()午前 ()午後 ()両方

②スノーケリング 参加希望 ()あり ()なし

スノーケリング機材は ()持参 ()主催者側のものを使用希望

③参加登録者

氏名 _____ 年齢 _____ 性別 _____

所属 _____

連絡先(E-mail、電話番号など) _____